



# エムティーアイ

## 2026年9月期 1Q決算説明会

2026年2月10日（火）

証券コード：9438

本資料における業績の見通しは、当社が本資料発表時点で入手可能な情報による判断、仮定および確信に基づくものであり、今後の国内および海外の経済情勢、事業運営における内外の状況変化、あるいは、見通しに内在する不確実な要素や潜在的リスク等、さまざまな要因により実際の業績が見通しと大きく異なる結果となり得ることがあります。なお、リスクや不確実な要素には将来の出来事から発生する予測不可能な影響等も含まれます。

## 目次

**1Q決算概要** … P2

決算ハイライト  
連結PL  
連結販管費内訳  
セグメント別業績

**今後の取り組み** … P18

FY2026基本方針と重点課題  
クラウド薬歴  
母子手帳アプリ+子育てDX  
学校DX事業

**付属資料** …P28

中長期的な収益イメージ  
連結PL推移  
連結販管費推移  
セグメント別業績  
連結BS  
FY2026業績予想  
主なヘルスケアサービス一覧  
ヘルスケアサービス全体像  
クラウド薬歴  
母子手帳アプリ+子育てDX  
学校DX事業

# 1Q決算概要

2026年9月期 第1四半期の決算概要について、ご説明します。

売上高

7,773 百万円

YoY+6.9%

営業利益

835 百万円

YoY+ 16.4 %

親会社株主に帰属する  
四半期純利益

603 百万円

YoY+2.4 %

コンテンツ

月額有料会員数

323 万人

前四半期比 △1万人

クラウド薬歴

導入店舗数 (累計)

4,166 店

フルクラウド型  
校務支援システム

導入学校数  
1,067校

次年度の新規契約  
は順調

決算ハイライトをご説明します。  
売上高は前年同期比で増収増益となりました。

主要なKPIについては、

- ・コンテンツ事業では、月額有料会員数は横ばいの323万人となりました。
- ・ヘルスケア事業では、クラウド薬歴の導入調剤薬局数が累計4,166店舗となりました。
- ・学校DX事業では、次年度導入の新規契約が順調に積み上がっています。それぞれの具体的な取り組みについては、後ほどご説明します。

連結PL

売上高：増収

営業利益、経常利益：増益

(単位：百万円)	FY2025 1Q	FY2026 1Q	前年同期比		
			金額	増減率	
売上高	7,271	<b>7,773</b>	+501	+6.9%	ヘルスケア事業、学校DX事業の売上成長
売上原価	1,860	<b>2,064</b>	+203	+10.9%	
原価率	25.6%	<b>26.6%</b>			
売上総利益	5,410	<b>5,708</b>	+297	+5.5%	
利益率	74.4%	<b>73.4%</b>			
販管費	4,692	<b>4,872</b>	+180	+3.8%	
販管费率	64.5%	<b>62.7%</b>			
営業利益	718	<b>835</b>	+117	+16.4%	
利益率	9.9%	<b>10.8%</b>			
経常利益	783	<b>923</b>	+140	+18.0%	
利益率	10.8%	<b>11.9%</b>			
親会社株主に帰属する 四半期純利益	589	<b>603</b>	+14	+2.4%	
利益率	8.1%	<b>7.8%</b>			

次に、連結PLについてです。

売上高は、前年同期比6.9%増の77億7,300万円となりました。

営業利益、経常利益は、売上の増加、販管費抑制により、それぞれ、8億3,500万円、9億2,300万円の増益となりました。

四半期純利益は、横ばいの6億 300万円となりました。

連結販管費内訳

販管費：微増

(単位：百万円)	FY2025 1Q	FY2026 1Q	前年同期比		
			金額	増減率	
販管費総額	4,692	<b>4,872</b>	+180	+3.8%	AdGuard向け販促費は横ばい
広告宣伝費	890	<b>868</b>	△21	△2.5%	
人件費	1,814	<b>1,917</b>	+103	+5.7%	
支払手数料	737	<b>810</b>	+72	+9.9%	
外注費	412	<b>453</b>	+41	+10.0%	
減価償却費	336	<b>300</b>	△36	△10.7%	
その他	501	<b>523</b>	+21	+4.2%	

販管費は、48億7,200万円となりました。  
 広告宣伝費が横ばいになったことから、前年同期比同水準となりました。

セグメント別業績

コンテンツ事業

- ・コンテンツ事業
- ・エンタメ・ライフ系コンテンツ
- ・セキュリティ系コンテンツ
- ・オリジナルコミック事業



ヘルスケア事業

- ・女性向けヘルスケア事業
- ・子育てDX事業
- ・クラウド薬歴事業
- ・オンライン診療サービス 他



CARADA 電子薬歴  
Solamichi

学校DX事業

- ・学校DX事業

BLEND



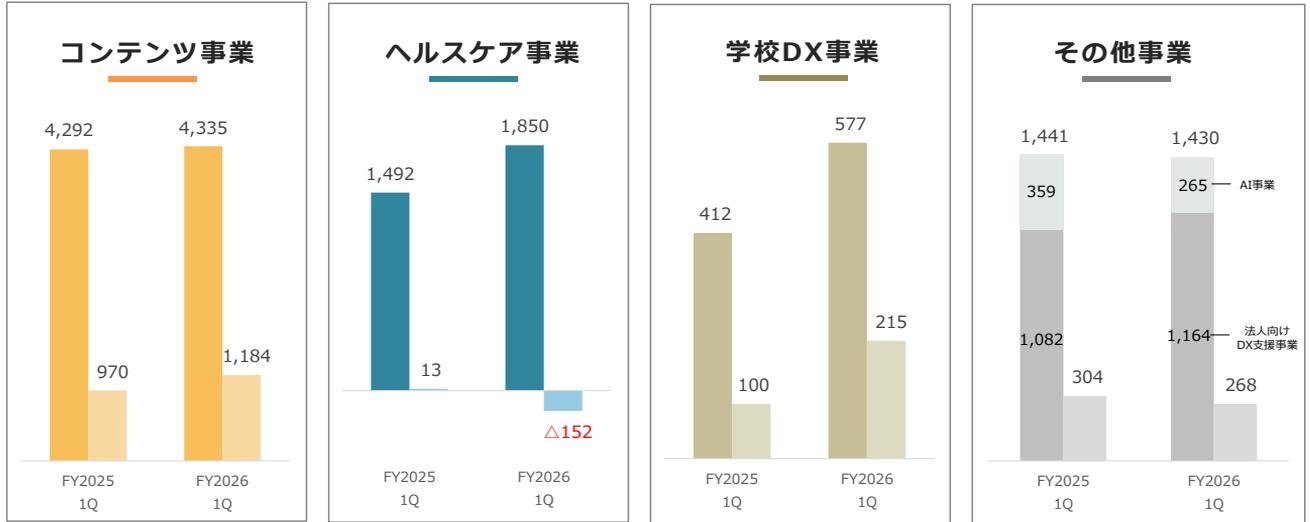
その他事業

- ・AI事業
- ・DX支援事業
- ・法人向けソリューション



続いて、セグメント別業績についてご説明します。

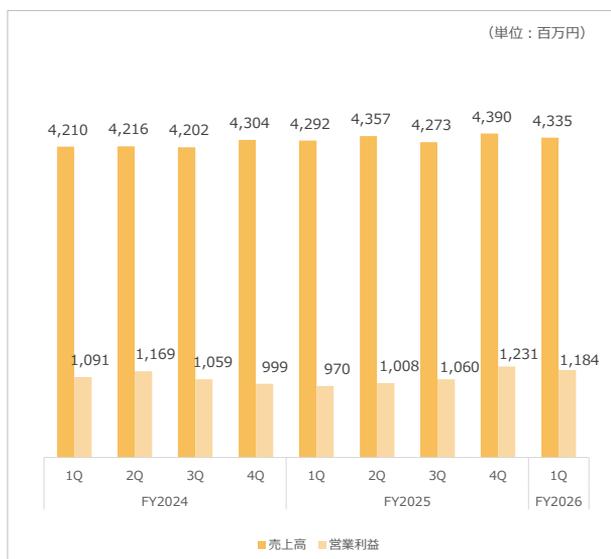
(左軸：売上高、右軸：営業利益、単位：百万円)



各セグメント業績の、前年同期比は、ご覧の通りです。

売上高については、コンテンツ事業、ヘルスケア事業、学校DX事業において増収となり、その他事業は、横ばいとなりました。

営業利益については、ヘルスケア事業は赤字拡大、その他事業は微減益となりましたが、コンテンツ事業および学校DX事業は、増益となりました。



直前四半期比

**売上高：横ばい**

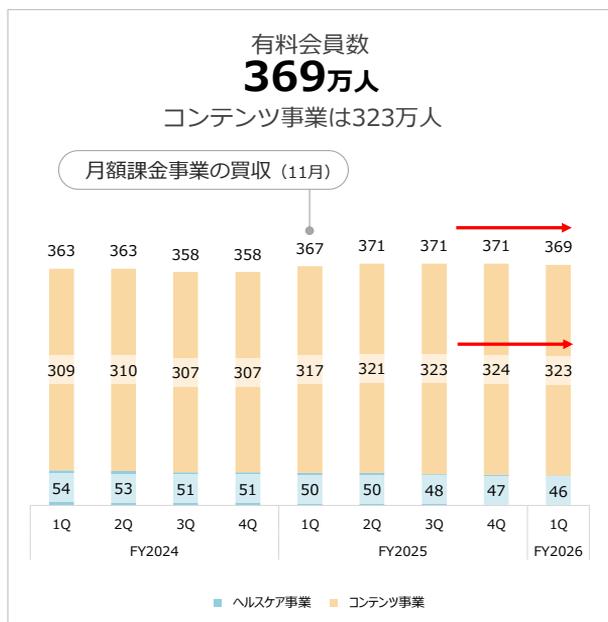
・ 有料会員数横ばい

**営業利益：横ばい**

次に、セグメント別の四半期推移について説明します。

コンテンツ事業は、  
直前四半期比では有料会員数が横ばいであったため、  
売上高は、横ばいの43億3,500万円、  
営業利益は、11億8,400万円となりました。

コンテンツ事業：有料会員数



**有料会員数横ばい**

・セキュリティ関連アプリ好調

コンテンツ事業の有料会員数については、セキュリティ関連アプリの入会者数が好調に推移し、横ばいの323万人となりました。

ヘルスケア事業を含めると、有料会員数は合計369万人となっています。



## セキュリティ関連アプリ 好調続く

有料会員数 **122万人**

4つの機能



広告ブロック



追跡ブロック



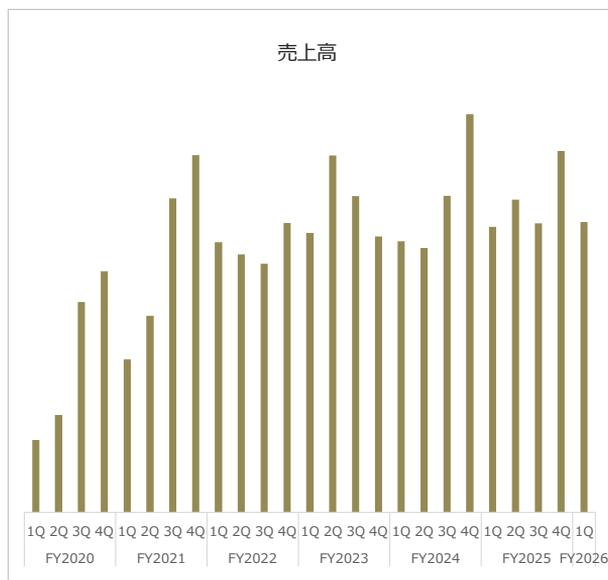
脅威ブロック



ペアレント機能  
(子どもの保護機能)

セキュリティ関連アプリ『AdGuard』の新規入会は引き続き好調で、12月末時点で有料会員数は122万人に達しました。

## コンテンツ事業：オリジナルコミック



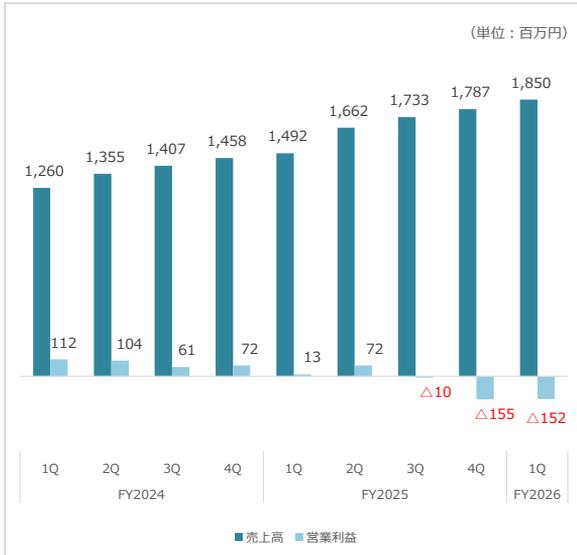
## オリジナルコミック事業 安定推移

- ・ 作品投入数維持
- ・ 人気作品のTVドラマ化本数 安定成長

Copyrights (c) 2026 MTI Ltd. All Right Reserved

11

オリジナルコミック事業の売上高は、  
多少の変動はあるものの、安定的に推移しています。



直前四半期比

**売上高：伸長**

・クラウド薬歴順調

直前四半期比

**営業赤字：横ばい**

- ・薬局DX、子育てDXのシステム開発費
- ・ルナルナみらいサポート費用負担

ヘルスケア事業の四半期推移です。

クラウド薬歴事業が好調に推移し、売上高は18億5,000万円となりました。

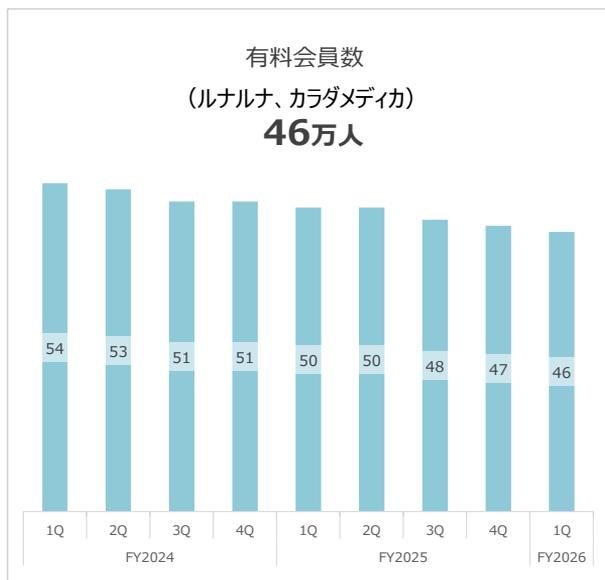
営業赤字の規模は、直前四半期比で同水準の

1億5,200万円となりました。

薬局DXや子育てDXのシステム開発費に加え、

ルナルナブランドによる自治体向けサービス『ルナルナみらいサポート』の費用負担によるものです。

ヘルスケア事業：月額コンテンツサービス

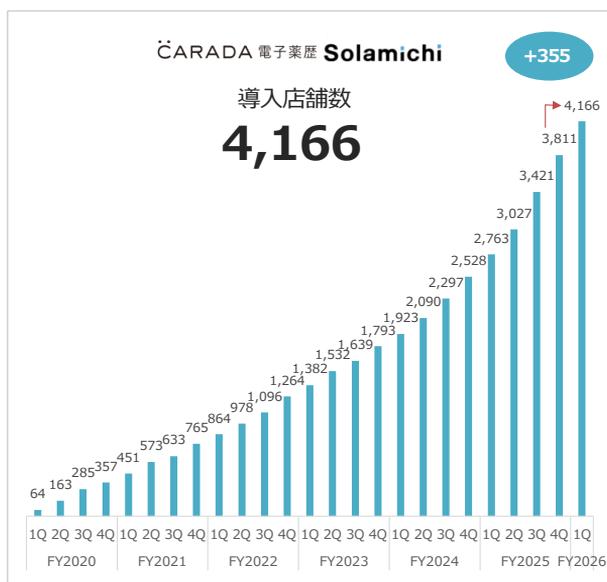


月額コンテンツサービス

有料会員数

直前四半期比横ばい

ヘルスケア事業の有料会員数は横ばいで、46万人となりました。



## クラウド薬歴

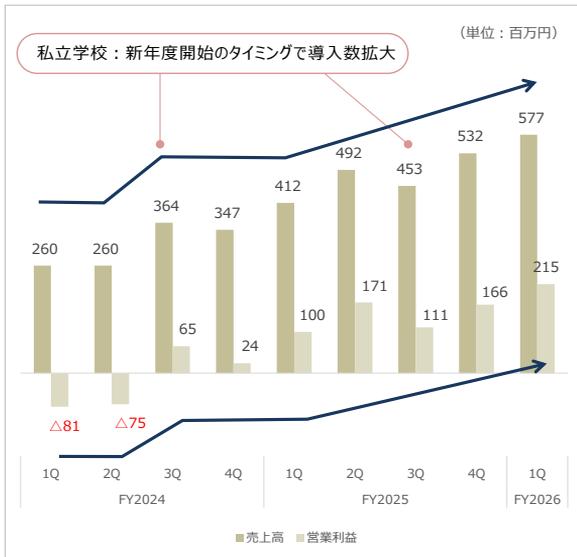
中規模以上の薬局・ドラッグストア  
への導入が寄与

Copyrights (c) 2026 MTI Ltd. All Right Reserved

14

クラウド薬歴事業では、順調に店舗数を増やし、ヘルスケア事業の売上成長に寄与しています。中規模以上の薬局やドラッグストア向けの販売促進が功を奏しました。第1四半期での新規導入店舗数は355店舗となりました。その結果、累計では4,166店舗となりました。大手チェーン店への導入は順調に進みましたが、導入が一巡したため、今後の導入ペースは落ち着く見込みです。

学校DX事業：売上高・営業利益



直前四半期比

**売上高：伸長**  
**営業利益：拡大**

+ 公立学校：初期導入売上

学校DX事業の売上高は5億7,700万円、  
営業利益は、2億1,500万円となりました。

山梨県の義務教育向け初期売上が  
3ヵ月分計上できたため、売上・利益ともに拡大しました。

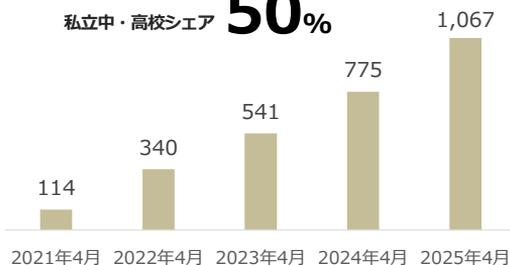
## 導入学校数 拡大

### 私立学校

(中学校・高等学校)

2025年4月新年度導入：300校

私立中・高校シェア **50%**



導入学校数：学校法人統合や中学・高等学校アカウント統合等に伴う解約を反映  
私立学校シェア：文部科学省ホームページ（令和6年度学校基本調査令和6年12月18日公表）より当社算出

### 公立学校

(小学校・中学校・高等学校)

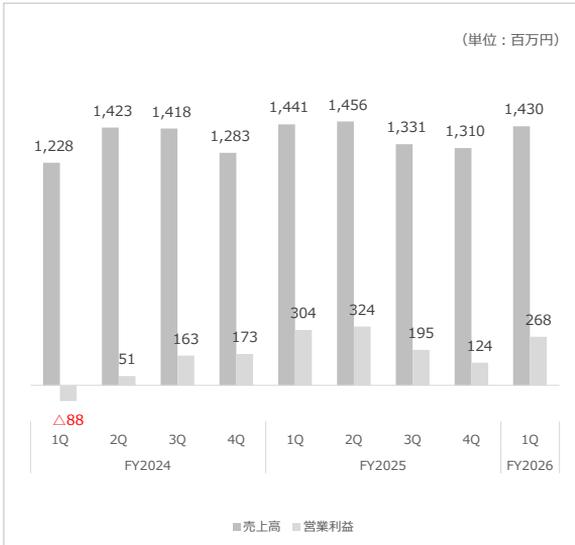
- ・ 2025年4月：山梨県高等学校導入
- ・ 2026年4月：山梨県小学校・中学校導入 (予定)



フルクラウド型校務支援システムBLENDの導入学校数は、4月のタイミングで増加するため、前回発表から変更はございません。

私立学校はシェア50%の累計1,067が、公立学校は、山梨県高等学校が導入済みです。

■ その他事業（法人向けDX支援、AI等）：売上高・営業利益



直前四半期比

**売上高：伸長**  
**営業利益：拡大**

・法人向けDX支援事業は堅調

その他事業については、売上高増収の14億3,000万円、営業利益も2億6,800万円となりました。

法人向けDX支援事業の受注が堅調に推移し、AI事業におけるコストコントロールにより、四半期比で営業利益が伸長しました。

以上が、2026年9月期第1四半期の決算概要です。

## 今後の取り組み

続いて、今後の取り組みについてご説明します。

ヘルスケア事業

売上・利益成長

- ・薬局向け：クラウド薬歴事業の成長
- ・自治体向け：子育てDXプラットフォーム戦略推進

学校DX事業

売上・利益成長

- ・私立学校向け導入数拡大
- ・公立学校向け導入数拡大

コンテンツ事業

利益確保

- ・セキュリティ関連アプリ等の成長
- ・オリジナルコミック事業成長

第2四半期以降も、ヘルスケア事業と学校DX事業の売上・利益成長に注力してまいります。

各セグメントにおいては、引き続き、ご覧の重点課題に取り組んでまいります。

CARADA 電子薬歴 Solamichi



## 導入数さらなる拡大へ

中規模以上の  
薬局・ドラッグストアへの導入

- 薬剤師が使いやすいUI/UXの実現
- AI自動要約機能搭載



Copyrights (c) 2026 MTI Ltd. All Right Reserved

クラウド薬歴事業は、  
前期から好調な中規模以上の薬局やドラッグストアへの販売促進を続け、  
導入数をさらに拡大させていきます。

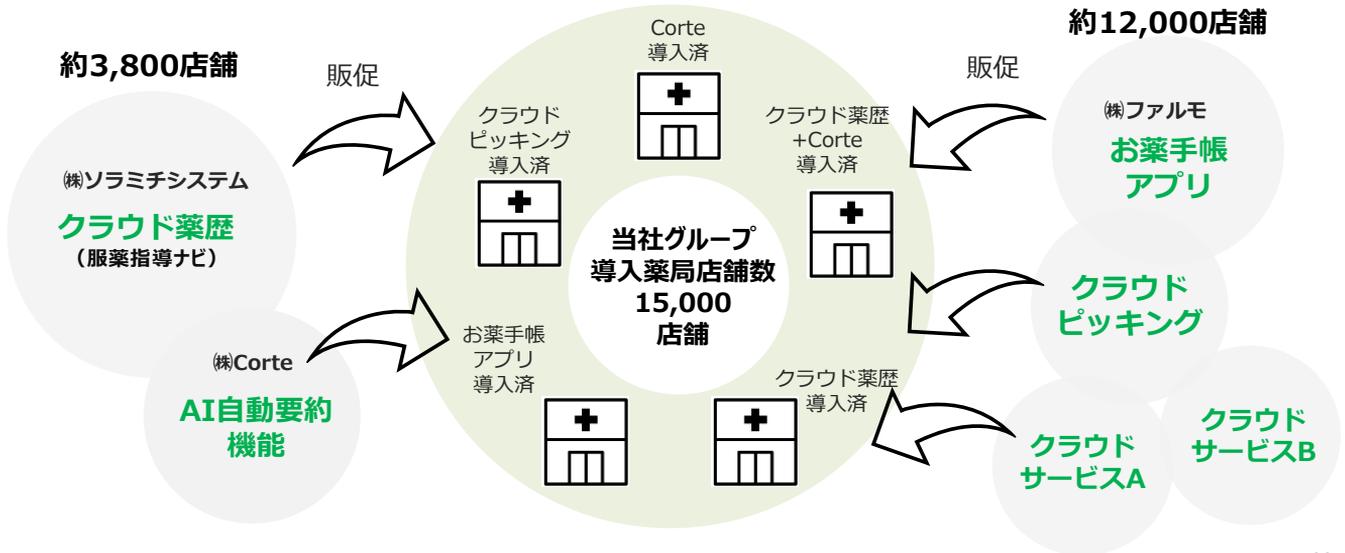
## 調剤薬局内向けクラウドサービスの品揃えの充実



薬局DXでは、クラウド薬歴以外のサービスも充実してきました。子会社ソラミチシステムの展開する、「クラウド薬歴」、関連会社の「AI自動要約機能」、子会社ファルモの「お薬手帳アプリ」、「クラウドピッキング」など、複数の商材の導入実績が積み上がっています。また、足元ではクラウドレセコンの開発も進めています。

クラウド薬歴は、大手チェーン店への導入が一巡しました。引き続き、新たな導入数拡大に向けて積極的に取り組んでいきます。

## グループ全体では20%の薬局へ導入 全国15,000以上の店舗と取引実績



Copyrights (c) 2026 MTI Ltd. All Right Reserved

22

グループ全体では、導入済み薬局数が15,000店舗を超え、  
全国カバー率は20%となっています。

これら複数のクラウド商材を市場に浸透させていき、  
調剤薬局内の業務システムを、  
オンプレミス型からクラウド中心へと変えていきます。  
また、お薬手帳アプリで患者とつながる薬局づくりも支援していくことにより、  
薬局DX事業の売上・利益成長に繋げていきます。

## 『母子モ』 利用自治体の子育てDXサービス導入は順調

自治体シェア 46%



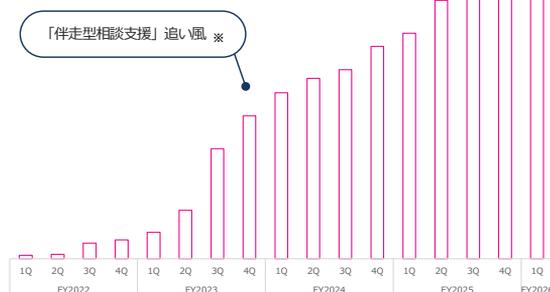
母子手帳アプリ  
導入自治体数

812



子育てDXサービス  
導入自治体数 (延べ)

314



※こども家庭庁による2023年1月開始の政策。

Copyrights (c) 2026 MTI Ltd. All Right Reserved

子育て事業では、母子手帳アプリの導入数は全自治体数1,741のうち、800を超えました。

12月末時点で812自治体となり、シェア46%となりました。

高付加価値サービスの子育てDXサービスも好調であり、延べ314自治体まで拡大しました。

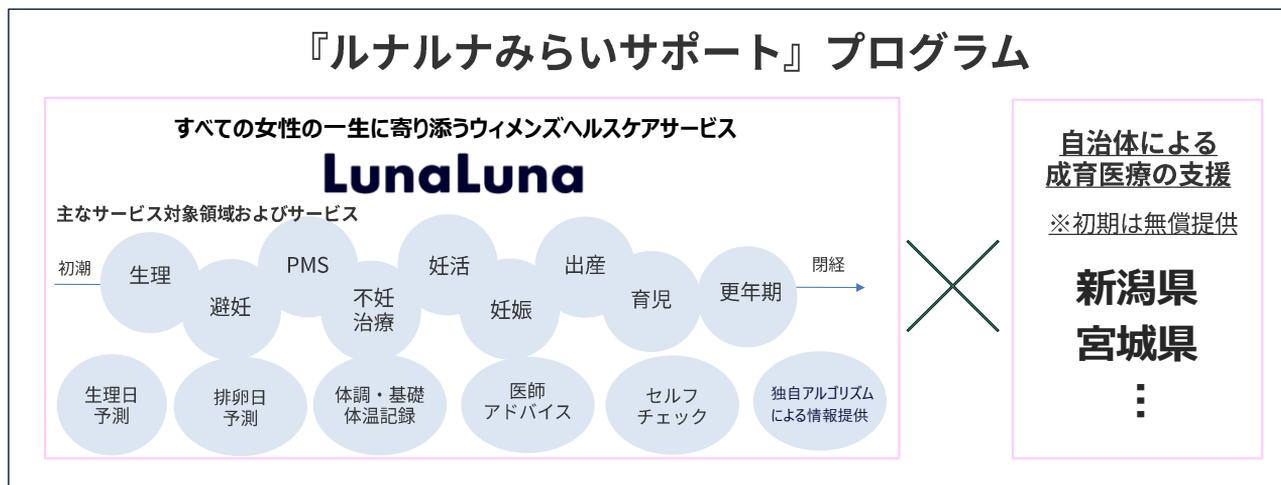
引き続き、アプリ未導入の自治体にはアプリ導入を推進し、導入済みの自治体には、小児予防接種や乳幼児健診サービスなど、子育てDXサービスを幅広くご利用いただけることを通じて、将来の利益成長に繋がるよう、取り組んでいきます。

ヘルスケア事業：女性向けヘルスケアサービスの自治体連携（みらいサポート）

## ルナルナ事業：新潟県に続き宮城県と連携協定締結

- ・女性向け健康情報サービス『ルナルナ』の無償提供（県単位）
- ・将来的な事業成長に向けた布石

### 『ルナルナみらいサポート』プログラム



Copyrights (c) 2026 MTI Ltd. All Right Reserved

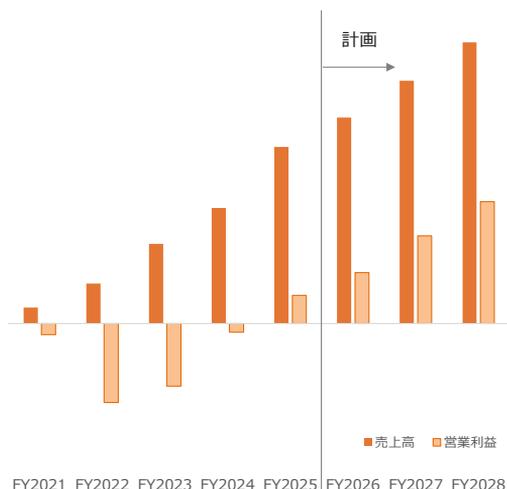
24

女性向けヘルスケアサービスの『ルナルナ』では、昨年10月の新潟県に続き、1月には宮城県とも連携協定を締結しました。これは、将来の事業成長に向けた布石としての取り組みです。また、エンドユーザー向けビジネスモデルから行政向け事業モデルへの転換に向けたチャレンジでもあります。

ルナルナのプレミアムサービスは、すべての女性の一生に寄り添うウィメンズヘルスケアサービスです。この『ルナルナみらいサポート』により、地域住民は約2年間、ルナルナサービスを無償で利用できます。その後は自治体から利用料を徴収します。

この自治体向けサービスでは、妊活で利用されることが多いです。2024年夏より先行してサービスを開始した自治体では、自然妊娠率の改善が見られています。地域社会全体で健康づくりに取り組むサービスとして好評ですので、他の自治体との連携についても、取り組んでいきたいと考えています。

# BLEND



## 引き続き導入学校数拡大へ

### 成長機会

私立学校： 2026年4月導入の新規契約は順調

公立学校： 政府による都道府県域での校務DX推進

・ 山梨県の小・中・高等学校への導入

### 差別化

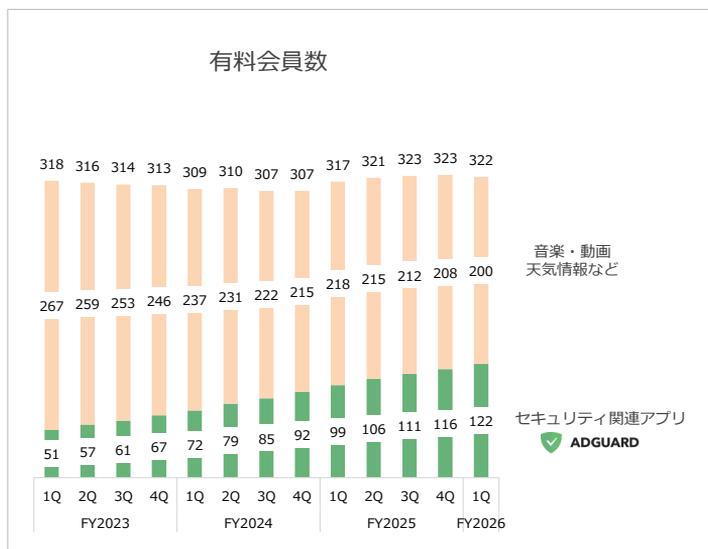
フルクラウド型一括サービス

FY2021 FY2022 FY2023 FY2024 FY2025 FY2026 FY2027 FY2028

学校DX事業は引き続き、好調に推移しています。

私立学校向けでは、来年度導入の新規契約が順調に積み上がっています。公立学校向けでも、4月からの山梨県小中学校の導入が控え、これにより、同県内全ての小中学校、高校がBLENDを導入することになります。この実績を活かし、他の都道府県への導入に向けて、引き続き積極的に取り組んでいきます。

コンテンツ事業：有料会員数



- ・ 今後の成長が見込める分野に対し 計画的に広告宣伝活動
- ・ 動画配信事業の売却  
↳ 有料会員数7万

コンテンツ事業においては、引き続き、セキュリティ関連アプリなど成長が維持できるコンテンツへの広告宣伝活動を計画的に行っていきます。

なお、有料会員数が約7万人の動画配信事業を売却しましたが、コンテンツ事業の営業利益への影響は軽微です。

ありがとうございました。



〈お問い合わせ先〉  
株式会社エムティーアイ IR室  
e-mail:ir@mti.co.jp  
<https://ir.mti.co.jp>

Copyrights (c) 2026 MTI Ltd. All Right Reserved

説明は以上となります。  
ご清聴ありがとうございました。